



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社SM ENTERTAINMENT JAPAN 上場取引所 東
コード番号 4772 URL <https://www.streammedia.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）金 東佑
問合せ先責任者 （役職名）取締役財務管理部門長 （氏名）金 亨柱 TEL 03-6809-6118
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	7,463	△0.8	225	△38.1	236	△35.2	460	49.8
2024年12月期第3四半期	7,521	0.3	363	△0.9	365	△3.0	307	△3.6

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 636百万円（－％） 2024年12月期第3四半期 △227百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	3.98	—
2024年12月期第3四半期	2.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	14,610	8,091	50.4
2024年12月期	14,405	7,783	48.0

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 7,360百万円 2024年12月期 6,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,595	△1.2	153	△57.8	167	△55.2	411	△47.7	3.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	115,904,831株	2024年12月期	115,904,831株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	9,930株	2024年12月期	9,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	115,894,901株	2024年12月期3Q	115,894,940株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループに関連する市場環境につきましては、エンターテインメント業界では、引き続き製作費や人件費の高止まりといった課題が継続しているものの、大規模会場の新設・高稼働化、1公演あたりの動員数やチケット単価の上昇などを背景に、市場規模は過去最高を更新し、成長が加速しています。映像コンテンツ業界においては、大手OTTサービス事業者の積極的なコンテンツ投資により、権利獲得競争が激化するほか、OTTサービス利用の拡大に伴い視聴者層の分散や若年層のテレビ離れが進行しています。これにより、従来型の多チャンネルサービスでは加入世帯の減少や広告収入の低下が続いており、映像関連事業を取り巻く市場環境は厳しさを増しています。

このような経営環境の中、エンターテインメント事業は当第3四半期連結会計期間において、46公演のコンサート開催で44万人を動員しました。この結果、当第3四半期連結累計期間では合計114公演を実施し、約108万人を動員したことで好調に推移しました。コンサート事業以外では、輸入グッズの販売が引き続き好調に推移したことに加え、多数のPOPUPイベントの開催、オリジナルグッズの販売も収益に貢献いたしました。また、企画・開発を進めてきた新規IPについては、8月にデビュー発表を行い、今後の展開に向けた準備を進めております。

ライツ&メディア事業では、ライツ事業で新作コンテンツの獲得営業を積極的に行うとともに、引き続き獲得した新作コンテンツの一部について収益構造の転換を進めました。メディア事業ではプレミアムコンテンツを放映し、視聴者の新規獲得および解約防止に努めるとともに、事業収益の効率化を図っています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高7,463百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は225百万円（前年同期比38.1%減）、経常利益は236百万円（前年同期比35.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は460百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(エンターテインメント事業)

コンサート事業では、2025年8月に東京ドームで開催された「SMTOWN LIVE 2025 in TOKYO」が好評を博し、2日間で約9.7万人を動員しました。また、「2025 RIIZE CONCERT TOUR [RIIZING LOUD] IN JAPAN」では、RIIZEにとって初の日本全国アリーナツアーとして、全国各地で複数回の公演を開催し、累計で約9.7万人を動員しました。

コンサート事業以外では、MD事業においては、デビューから20周年を迎えるSUPER JUNIORのコンサート開催に向けて、韓国から輸入する受注生産のグッズ等が収益に大きく貢献し、2025年8月に開催された

「RIIZE×OMOKADO&HARAKADO」コラボでは、アーティストの認知拡大及びランダムグッズの販売等が好調に推移しました。また、その他の事業においては、所属アーティストの国内大型音楽フェスへの出演機会を複数獲得し、aespaが「SUMMER SONIC 2025」、NCT127のYUTAが「ROCK IN JAPAN FES 2025」および「INAZUMA ROCK FES. 2025」、NCT WISHが「a-nation 2025」に出演する等、業績に寄与しました。

この結果、売上高は5,612百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は402百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

(ライツ&メディア事業)

ライツ事業においては、「サロン・ド・ホームズ」「労務士 ノ・ムジン」等、計4作品を獲得し、その結果、当第3四半期連結累計期間においては累計18本を獲得し、引き続き新作コンテンツの一部について収益構造の転換を進めました。加えて、市場環境の変化に対応するため、OTT事業者との連携をより強化し、独占先行配信を戦略的に展開することで、売上高の増加及び収益力の強化に繋げています。

メディア事業においては、グループシナジーを活かして、NCT DREAMやRIIZE等のプレミアムコンテンツ計5作品を放映し、その結果、当第3四半期連結累計期間においては累計15本を放映しました。また、Leminoにおいて「SMTOWN LIVE 2025 in TOKYO」等のライブ映像を配信したことにより、話題性の高いコンテンツが視聴者層の拡大につながりました。多チャンネル市場縮小による権利販売減少の影響を受け、厳しい状況が続いていますが、視聴者の新規獲得および解約防止を図ることに加え、コストコントロールを徹底し、事業全体の効率化を推進しています。

この結果、売上高は1,851百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は207百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

(その他事業)

その他事業はカラオケアプリの事業を行っていましたが、前連結会計年度において事業を終了しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円増加いたしました。流動資産は12,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が1,557百万円増加したものの、売掛金が1,010百万円減少、立替金473百万円減少したことによるものであ

ります。また、固定資産は1,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円増加いたしました。その主な要因は、投資有価証券が284百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は6,519百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円減少いたしました。流動負債は5,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円減少いたしました。その主な要因は、流動負債のその他が234百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は542百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が111百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は8,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益460百万円により増加したものの、剰余金の配当115百万円により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2025年2月5日に「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想を達成することが困難と判断し、業績予想を下方修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,452,621	4,010,074
売掛金	6,118,211	5,107,499
商品	11,535	15,830
番組勘定	321,562	300,491
コンテンツ事業権	2,267,798	1,866,457
前渡金	305,251	326,702
立替金	896,243	423,215
その他	405,305	581,178
流動資産合計	12,778,529	12,631,450
固定資産		
有形固定資産	20,070	21,377
無形固定資産	7,647	5,658
投資その他の資産		
投資有価証券	1,385,827	1,670,816
長期貸付金	93,577	90,577
繰延税金資産	156,244	156,244
その他	66,696	152,192
貸倒引当金	△102,851	△118,123
投資その他の資産合計	1,599,495	1,951,707
固定資産合計	1,627,213	1,978,743
資産合計	14,405,742	14,610,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,106,702	5,106,448
契約負債	293,305	370,551
賞与引当金	55,436	—
その他	734,332	499,409
流動負債合計	6,189,777	5,976,409
固定負債		
繰延税金負債	417,158	528,260
その他	15,348	14,387
固定負債合計	432,506	542,647
負債合計	6,622,284	6,519,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	5,988,803	5,988,803
利益剰余金	330,170	675,060
自己株式	△33,136	△33,136
株主資本合計	6,335,837	6,680,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,643	680,157
その他の包括利益累計額合計	576,643	680,157
新株予約権	466,104	252,891
非支配株主持分	404,872	477,359
純資産合計	7,783,457	8,091,136
負債純資産合計	14,405,742	14,610,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,521,054	7,463,697
売上原価	5,904,308	5,906,378
売上総利益	1,616,746	1,557,319
販売費及び一般管理費	1,253,333	1,332,229
営業利益	363,412	225,089
営業外収益		
受取利息	1,668	5,865
受取配当金	—	8,019
業務受託料	1,009	2,379
その他	41	192
営業外収益合計	2,719	16,456
営業外費用		
支払利息	48	36
為替差損	834	4,771
営業外費用合計	882	4,807
経常利益	365,248	236,738
特別利益		
固定資産売却益	18,666	—
新株予約権戻入益	706	233,487
特別利益合計	19,372	233,487
特別損失		
減損損失	—	157
特別損失合計	—	157
税金等調整前四半期純利益	384,621	470,068
法人税、住民税及び事業税	79,984	7,169
法人税等合計	79,984	7,169
四半期純利益	304,636	462,899
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,976	△2,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,613	460,785

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	304,636	462,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△532,194	173,886
その他の包括利益合計	△532,194	173,886
四半期包括利益	△227,557	636,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,198	564,299
非支配株主に係る四半期包括利益	△218,359	72,487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	8,923千円	8,182千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンター テインメント 事業	ライツ& メディア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,668,649	1,852,405	7,521,054	0	7,521,054
外部顧客に対する売上高	5,668,649	1,852,405	7,521,054	0	7,521,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,668,649	1,852,405	7,521,054	0	7,521,054
セグメント利益又は損失（△）	599,770	227,882	827,653	△3,746	823,907

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カラオケのアプリ事業を行っていましたが、第1四半期連結会計期間において事業を終了しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	827,653
「その他」の区分の利益	△3,746
全社費用（注）	△460,495
四半期連結損益計算書の営業利益	363,412

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	エンター テインメント 事業	ライツ& メディア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,612,495	1,851,202	7,463,697	—	7,463,697
外部顧客に対する売上高	5,612,495	1,851,202	7,463,697	—	7,463,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,850	1,850	—	1,850
計	5,612,495	1,853,052	7,465,547	—	7,465,547
セグメント利益	402,044	207,523	609,568	—	609,568

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	609,568
「その他」の区分の利益	—
全社費用（注）	△384,478
四半期連結損益計算書の営業利益	225,089

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。